

令和8年度 町村議会広報研修会報告

期 日：令和8年7月1日(水)

午後1時00分～午後4時00分

開 催 地：ビッグパレットふくしま（郡山市）

出 席 者：広報常任委員5名

講 師：一般社団法人自治体広報公聴研究所講師代表理事

金井 茂樹 氏

国見町議会

蒲 倉 孝 委員長・・・・・・・・・・ 1

小 林 聖 治 副委員長・・・・・・・・ 4

山 崎 健 吉 委員・・・・・・・・・・ 5

渡 辺 勝 弘 委員・・・・・・・・・・ 6

斎 藤 樹 委員・・・・・・・・・・ 7

令和 8 年度 福島県町村議会広報研修会 報 告 書

令和 8 年 7 月 10 日

国見町議会議長 山崎健吉 様

国見町議会議員 蒲倉 孝

【日時】

令和 8 年 7 月 1 日(水)

【場所】

1. 郡山市 ビックパレットふくしま (コンベンションホール)

【報告】

1. 広報マインドと伝わる議会報づくり

「講師」； (一社)自治体広報広聴研究所 代表理事・広報アドバイザー

金井 茂樹 氏

(1) 広報の目的と広報マインド

- ・ 広報マインド … 誰に、何を、どのように伝えて、どうなってもらいたいのか
⇒ ターゲット、情報、手法、目的(意識・行動変容)
- ・ 広報の目的 … 認知・関心 → 理解・納得 → 行動
⇒ 目的をフェーズの連鎖として理解する
- ・ 広聴マインド … 誰に、何を、どのように聴いて、どうするのか
⇒ ターゲット、情報、手法、目的(意識・行動変容)
- ・ 情報リテラシー … 必要な情報の収集・選択
- ・ 広報媒体の連携 … 戦略的に様々な媒体を活用し伝える
- ・ 広報広聴の枠組み … 目的を重視する!!

(2) 議会報の品質向上

- ・ 議会報の役割 … 説明責任・地域課題の解決(しっかり伝える)
(例)視察 … 何のために／結果・成果
- ・ 伝わる議会報づくり … PDCA による継続的改善 (枠組み)
⇒ 企画(Plan)／編集(Do)／評価(Check)／改善(Action)
- ・ 広報委員会／編集会議 … 編集方針／マニュアル策定 ⇒ 全議員で共有

(3) 議会報の企画・編集

- ・ 企画 … 議会活動を伝える目的 ⇒ 記事を理解、納得してもらいたいこと
- ・ 編集 … 紙面の印象／情報の詰め込み
⇒ 文字ばかり／漢字ばかり／行間狭い／余白小さい
- ・ 要素 … リード文 ⇒ 読んで欲しい記事へ誘導する
本文前に「このページにはこんな内容が書かれています」を伝える
- ・ 表現 … 視認性／可読性／判読性 ⇒ フォントサイズや平易な言葉等
表紙のベースカラーは白 ⇒ 写真は特集記事とのつながりを

質疑や一般質問の見出し ⇒ 「…について」は可能な限り使用しない
縦組み；文字の60～100％／横組み；文字の50～70％

(4) 議会報と著作権

- ・ 議会報づくりのスキル … 要素／表現／自治体における著作権侵害の事例
- ・ 著作権の概要 … 文化庁ウェブサイト ⇒ 著作権テキスト／講習会(動画)
- ・ 著作者 … 著作権 ⇒ ○○されない権利
著作者人格権 ⇒ ○○されない権利／求める権利
※議会著作権を保有できない(権利能力・法人格がない)
- ・ 著作権への配慮 … 一般質問の要約原稿をつくる → 確認が必要
執行部答弁の要約原稿をつくる → 確認が必要
(同一性保持権)
- ・ 記事要素の著作権 … 住民へのインタビュー → 文章の著作権者は住民
- ・ 写真の肖像権 … 撮影されない自由、公表されない権利
子どもの写真は保護者からの利用許諾、同意を得る

(5) 議会報クリニック

- ① くにみ 議会だより No.212
 - ② みなみあいづ 議会だより 第80号
 - ③ 只見町 議会だより No.183
 - ④ にしあいづ 議会だより No.172
 - ⑤ いなわしろ 議会だより No.182
 - ⑥ 議会だより たまかわ No.183
 - ⑦ おのまち 議会だより 185号
 - ⑧ みんなのGIKAI おおくま議会だより 第75号
- ・ 評価の視点 … 要素、構成、表現について改善点を見つける
現状を踏まえてのディスカッションポイントの指摘
唯一の正解があるわけではない

(6) くにみ 議会だより No.212 クリニック

- ・ 表紙 … 「施政方針への質問」のフォントが大きいくとも良い
- ・ P2～3 … 自治体づくり、地域医療は分かり易く具体的に
- ・ P6 … 当初予算の前にリード文が欲しい
- ・ P16～17 … 一部事務組合および常任委員会の報告にはリード文が欲しい
- ・ P9～14 … 一般質問は「全て何も言う事が無く良く出来ている」とお褒めの言葉
- ・ 他、全てのページを評価いただきました

【所感】

- ・ 今年は、上記の通りクリニックを受講いたしました。まだまだ改善すべき点が多く、講師の方からの指摘およびアドバイスを次号以降の議会だよりへ反映いたします。
- ・ 一般質問の記事は、初めてお褒めの言葉をいただきました。広報常任委員含む全議員、事務局、皆さまのご協力によるものと、感謝申し上げます。
- ・ 今回のクリニックでは、直ぐに活用出来るアイデアもあり、9月議会号から取り入れて

行きたいと考えております。

- ・ 今後も、定期的に研修会へ参加し、より良い「くにみ 議会だより」をお届けいたします。

以上

令和8年度町村議会広報研修会報告書

令和8年7月10日（金）

国見町議会議長 東海林一樹 様

国見町議会議員 小林 聖治

日 時 令和8年7月1日(水) 午後1時～

場 所 郡山市「ビッグパレットふくしま」

研修事項 広報マインドと伝わる議会報づくり
議会報クリニック
(一社)自治体広報広聴研究所 金井 茂樹 氏

研修内容

議会広報紙の広報力を高めるために、編集、紙面構成をベースに、昨今の広報マインドならびに編集トレンドを学んだ。

感 想

議会の広報紙「議会だより」で、最も大切なことは、誰に、何を、どのように伝えて、どうなってもらいたいのか、相手が見てわかりやすく理解してもらえることだと思う。

今回の研修では、「では、そのためにどうすれば良いのか」を、編集、紙面構成を中心に多くのヒントを得ることができた。

印象に残ったのは、「議会の担う役割が、住民に強く伝わる編集」や「読読効果が期待できる企画を設けているか」、「コミュニケーションの変化をキャッチアップする」の部分であった。

とくに、「ただ漫然と編集するのではなく、PDCAに沿った編集が肝要」というのは、企画、編集、評価、改善を継続的に行うことは、議会報の品質向上に大切というのは、これだけでも私にとっては十分に満足できる研修であった。

そこで、今後のわが町議会の議会報には、毎回ごと議員1人から3人ずつインタビューなり簡単な記事を掲載してはどうかと提案したい。

なお、他町村議会の「議会だより」も資料としてあったので拝見したが、それぞれ地域の特性を活かしたつくり方で、感心しながら読ませてもらった。

以上、この研修報告を終わります。

令和8年7月3日

町村議会広報委員会研修報告書

国見町議会議長 山崎健吉 様

報告者氏名 山崎 健吉

【調査内容】

「日 時」令和8年7月1日 13時から

「場 所」ビックパレットふくしま（郡山市）

「研修内容」広報マインドと伝わる議会報づくり

研修の主体は、どのような目的をもって、町民の皆さんに、解りやすく読んで頂けるか・そして町民の目線で、広報誌を作成するための研修である。

当議会が発行している「くにみ議会だより」と、7町村の議会広報誌のクリニックを、一般財団法人自治体広報広聴研究所の代表理事である金井 茂樹氏から、各議会の内容について、丁寧にアドバイスを受けた。

また、誰に・何を・どのように伝えて・どうなってもらいたいのかを伝えているかを、具体的に指導して頂いた。特に、近年は、写真など著作権の配慮に十分注意して欲しい旨の指導もあった。

【感想・所感など】

今回の研修は、当議会が発行している「くにみ議会だより」と、7町村の議会広報誌を、具体的に評価して頂いた事である。

当議会の、議会だよりは、全体的に「良」の評価を受けた。
一番注意してほしいことは、当町ばかりでなく、写真などの著作権に関することである。例えば、学校行事での全体写真は、学校はもとより、保護者の同意も必要であること、またランドセルで児童が特定できるような物に対しても配慮が必要であるとのこと等が、今回の最大の収穫だった。当委員会も十分配慮して掲載しているが、今回の研修によって、再確認した。

今後も、町民の皆さんに読んで頂く「くにみ議会だより」を作って行きたいと思っています。

以 上

令和 8 年度町村議会広報研修会

令和 8 年 7 月 2 日（木）

国見町議会議長 山崎 健吉 様

国見町議会議員 渡邊 勝弘

日 時 令和 7 年 7 月 1 日(火) 午後 1 時～ 4 時

研修内容 広報マインドと伝わる議会報づくり

議会報クリニック

講 師 一般社団法人自治体広報広聴研究所
代表理事 金井 茂樹氏

調査内容

広報の目的と広報マインドとは、誰に、何を、どのように伝え、どうなってもらいたいのかを考え、広報紙、ホームページ、SNSを活用して常に考えていかななくてはならない。広聴の目的と意義として目標を実現するために住民の要望、提案、批判、意見、悩み、課題、評価などを聞くことによって、議員は説明責任を果たすに問題意識が変わり、問題解決のため事業や既存事業の拡充を提案することで、その内容を理解納得してもらうことで、町民との信頼協働関係を構築することができる。そこに、より広報紙が実現する。また、広報紙を創る上で写真の肖像権の利用許諾についても、十分注意が必要である。戦略的広報として、目的・プロセス（中・長期）をしっかりと理解して誰に、何を伝え、どうなしてほしいのか行動のプロセスを考慮して進めなくてはならない。

感 想

当町の広報誌を含めた 8 町の議会報クリニックを受け鋭い意見いただきました。特に、施政方針に対する質問で、「自治体づくり」の漠然としたキャプションだけではなく、町民が文章の中にはいられるようにそして、さらに読んでもらえるようにしなくてはならない。また、掲載写真においても注意しなくてはなりません。一般質問での掲載写真も含めたチェックはなく、読みやすい紙面でありました。また、議会中継を見ることが出来なかった方のため「議会中継アーカイブ」を取り入れていることは素晴らしいこと試みでした。今後も町民が待ち望んでもらえる広報紙を作っていかなければならない。

令和８年度町村議会広報研修会報告書

講師である金井茂樹先生の話は以下のとおり。

- ・議会広報の目的と広報マインド
- ・広報広聴の目的と枠組み・役割が一番大切なことだと考える
- ・広報委員会の会議で伝える目的とバランスを大切にする
- ・表現、見出し、質問などの表現の工夫
- ・著作権の配慮と住民からの利用承諾を得ること。

令和８年７月９日 斎藤樹